cheero

取 扱 説 明 書

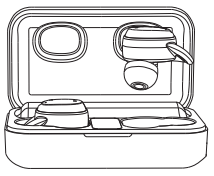
cheero Wireless Earphones
powered by Qualcomm® aptX™ audio

型番 CHE-627
日本語版

内容物

本体及び付属品が同梱されていることをご確認ください。

本体（LRペア、イヤーピースM×2付）
充電ケース



充電用USB-A to USB-Cケーブル

イヤーピース（SSS×2、SS×2、S×2、L×2）

取扱説明書・保証書

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

●誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 危 険	「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。
⚠ 警 告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注 意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

●お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です。）

⚠ 注意すること	⃠ してはいけないこと	❗ 必ず行うこと

⚠ 危 険

■バッテリーについて

本機には、イヤホン本体（LR）および充電ケースにリチウムポリマーバッテリーが内蔵されています。発熱、発火、液漏れ等を避けるため、以下の注意事項を必ず守ってください。

⃠	**異臭や発熱、ひずみ、変色などの異変に気づいたら使用を続けない** 発熱や破裂、発火の原因となります。
⃠	**分解・改造しない** 発熱や発火、感電の原因となります。
⚠	**火の中に入れたり、火のそばや炎天下などで充電したり、放置したりしない** バッテリーの破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
⃠	**電解液が漏れている場合は使用を続けない** 発熱や破裂、発火の原因となります。

⚠ 警 告

⚠	**故障したまま使用しない、異常が起きたらすぐに電源を切る** ●煙が出ている、変なにおいや音がする ●本機を落としてしまった ●本機内部に水が入ってしまった このような異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。 すぐに電源を切って販売店あるいは当社修理ご相談窓口に修理・点検を依頼してください。
⃠	**分解、改造しない** 火災・感電の原因となります。 内部の点検・整備・修理は販売店あるいは当社修理ご相談窓口に依頼してください。
⃠	**長時間大きな音で使用しない** 本機をご使用になる時は、音量を上げすぎないようにご注意ください。 耳を刺激するような大音量で長時間続けて使用すると、聴力が大きく損なわれるおそれがあります。
⃠	**小さなお子様の手の届くところで使用・保管しない** ご使用後はイヤホン本体を充電ケースに入れて、お子様の手の届かないところに保管してください。 感電やけが、誤飲の原因となります。
⃠	**自転車、オートバイ、自動車または機械類の運転操作をしない** 運転操作中はもちろん、それ以外でも、踏切や駅のホーム、車道、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険な場所では、使用しないでください。
⃠	**水につけない** 本機のイヤホン本体は防まつ形（あらゆる方向からの飛まつによる有害な影響がない）ですが、以下のことにはご注意ください。 ●風呂やプールなどに沈めない ●強い噴流水を与えない
⃠	**水蒸気や水のかかる所に置かない** 本機の充電ケースは防水防滴形ではありませんので、水滴や液体が入った場合、火災・感電の原因となります。 ●濡れたままの本体を収納しない ●風呂場や脱衣場など湿度の高い場所では使用しない ●調理台や加湿器のそばには置かない ●雨や雪などがかかるところで使用しない
❗	**USB-C 入力口、USB-A 出力口は定期的に掃除する** USB-C 入力口、USB-A 出力口にほこりなどがたまっていると、火災の原因となります。充電用ケーブルを外し、乾いた布でほこりを取り除いてください。
⃠	**電解液が漏れた時は素手で液をさわらない** 液漏れが発生した時には販売店あるいは当社修理ご相談窓口にご相談ください。液が目に入った時には失明の恐れがありますので、目をこすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師にご相談ください。 液が体や衣服に付いた時は皮膚のけが・やけどの原因となるのできれいな水で洗い流したあと、ただちに医師にご相談ください。

■充電用 USB-A to USB-C ケーブルについて

⃠	**充電用ケーブルを傷つけない** ●ケーブルの上に重い物をのせない ●傷つけたり、加工したりしない ●熱器具などに近づけない、加熱しない 充電用ケーブルが傷んだら（ 芯線の露出・断線など ）使用を中止してください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
⃠	**充電用ケーブルを鋭い角度で曲げたり、無理にねじったり、引っ張ったり、無理な力を加えない** 内部の線材や端子が破損して火災・感電の原因となります。
⃠	**充電中に雷が鳴りだしたら、充電用ケーブルに触れない** 感電の原因となります。

■電波について

⃠	**心臓ペースメーカーを装着されている場合は使用しない** 電波によりペースメーカーの動作に影響を与える原因となります。
⃠	**病院などの医療機関内、医療用機器の近くや、飛行機の中では使用しない** 電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となります。
❗	**他の機器に電波障害などが発生した場合使用を中止する** 電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となります。

⚠ 注 意

⃠	**音量を上げすぎない** 突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。始めから音量を上げ過ぎると、突然大きな音が出て耳を傷めることがあります。 音量は少しずつ上げてご使用ください。
❗	**肌に合わない場合は使用を中止する** イヤーピースとサポートホルダーはシリコンゴムを使用しているためアレルギー反応が出る可能性があります。
❗	**移動させる際は充電用ケーブルをはずす** 移動させる際は、安全のため充電用ケーブルを抜いてから行ってください USB 差込口や USB 端子が破損することがあります。
⃠	**0～45℃以外の場所で使用しない** 内蔵バッテリーが液漏れ・発熱・破裂する原因となります。
❗	**発熱時は充電用ケーブルをはずしてしばらく放置する** 発熱や発火の原因となります。
⃠	**ペットがいるところで使用・保管しない** 感電やけが、誤飲の原因となりますので、ご使用後はイヤホン本体を充電ケースに入れて、ペットに触られないところに保管してください。

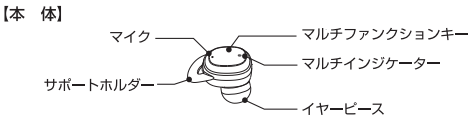
■電波について

本機が使用する周波数帯（2.4GHz）では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、免許を要する工場の製造ラインで使用されている移動体識別用の機内無線局、免許を要しない特定小電力無線局や免許を要するアマチュア無線局などが運用されています。他の機器との干渉を防止するために、次の点に十分ご注意いただきご使用ください。

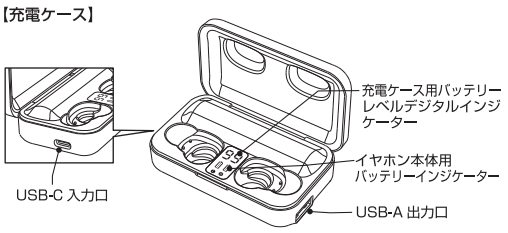
⚠	本機を使用する前に、近くで他の無線局が運用されていないことを確認してください。万一、本機から他の無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合、速やかに使用を停止してください。
⚠	すべての Bluetooth 対応機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。
⚠	本機と Bluetooth 対応機器との互換性については、各 Bluetooth 対応機器に付属の取扱説明書を参照するか、または販売店にお問い合わせください。
⚠	一部の国では、Bluetooth 対応機器の使用が制限されている場合があります。Bluetooth 対応機器の使用については、お住まいの各自治体にお問合せください。

各部の名称

【本 体】



【充電ケース】



■ご使用に際して

スマートフォンなど Bluetooth 対応機器の音声・楽曲をワイヤレスで楽しむことができます。

※本機をイヤホンとして使うには Bluetooth 対応機器が A2DP プロファイルを、またハンズフリー通話を行うには HFP または HSP プロファイルをサポートしている必要があります。なお、すべての Bluetooth 対応機器との接続動作を保証するものではありません。

イヤーピースの交換方法

イヤホン本体に最初から付いているイヤーピース（M サイズ）以外に、4 種類の大きさ（SSS、SS、S、L）のイヤーピースが付属しています。

●**イヤーピースを取り外す**

イヤーピースをねじりながら外します。

●**イヤーピースを取り付ける**

イヤーピース取り付け部をノズルにしっかり差し込みます。
差し込みが不完全な場合、使用中にイヤーピースが外れることがあります。

充電する

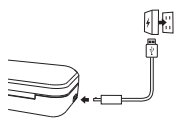
●**イヤホン本体を充電する**

イヤホン本体を充電ケースに収納すると、充電ケースのイヤホン本体用バッテリーインジケーターが動作します。続いてイヤホン本体のマルチインジケーターが赤色に点灯し、充電が始まります。
※保護シートが付いている場合は、それを剥がしてから充電します。

●**充電ケースを充電する**

1. 付属の充電用ケーブルの USB-C 端子を充電ケースの USB-C 入力口に接続します。
2. 充電用ケーブルの USB-A 端子をパソコンに接続します。または充電用ケーブルを USB AC アダプタ（別売）に接続し、アダプタを家庭用コンセントに接続します。
3. 充電ケース用バッテリーレベルデジタルインジケーターの 1 の位が点滅します。

※バッテリーレベルデジタルインジケーターが消灯すれば充電完了です。



※充電時間は約 3 時間です（初回充電時はさらに時間がかかる場合があります）。

4. 充電が完了しましたら充電用ケーブルを外します。

※長時間使用しないとバッテリーが自然放電して劣化しますので、3 ヶ月に 1 度程度は本機への充電を行ってください。

●**他の機器へ充電する**

充電ケースはモバイルバッテリー機能を搭載しています。

1. 充電用ケーブルの片側を、充電したい電子機器に接続します。

※本機には充電用 USB-A to USB-C ケーブル以外のケーブルは付属しておりません。充電したい電子機器に応じた充電ケーブルをご用意ください。

2. 充電用ケーブルの USB-A 側を充電ケースの「USB-A 出力口」に接続します。
3. バッテリーレベルデジタルインジケーターのランプが点灯し、接続した電子機器への充電が始まります。

※充電する電子機器によっては充電開始までに約 1 分程度かかる場合があります。

4. 充電が終わりましたら充電用ケーブルをはずします。

※バッテリーレベルデジタルインジケーターのランプが数秒後に消灯します。

電源の入れ方／切り方

●**電源の入れ方**

充電ケースからイヤホン本体を同時に取り出すと、自動的に電源が入り、「パワーオン」というアナウンスが流れ、マルチインジケーターが青く点灯したあと、いちど消灯します。

※イヤホン本体の充電が完了していないときは、取り出したときに「パワーオン」というアナウンスは流れません。

※充電ケースから取り出した状態で電源が切れたときは、ケースに入れて、マルチインジケーターが赤く点灯していることを確認してから取りだしてください。あるいは L 側、R 側両方のマルチファンクションキーを、マルチインジケーターが青く点灯するまで約 2 秒間長押しすることでも電源を入れることができます。

次に自動的に L 側と R 側のステレオペアリングが行われ、L 側、R 側それぞれからステレオペアリング完了の動作音がしたあと、L 側から「ペアリング」というアナウンスが流れます。

ここで、以前に Bluetooth 対応機器とペアリングが完了していれば、自動的に Bluetooth 対応機器との接続を完了して、L 側から「コネクティッド」というアナウンスが流れ、L 側、R 側それぞれのマルチインジケーターが 5 秒間隔で青く点滅を繰り返します。

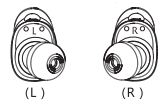
●**電源の切り方**

充電ケースに収納すると、自動的に電源が切れ、マルチインジケーターが赤く点灯し充電が始まります。

※音声が出ていない状態が続いても、イヤホンの電源が自動的に切れることはありません。電源を切りたい場合は充電ケースに収納してください。

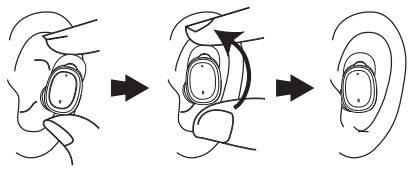
イヤホンの装着方法

1. イヤホン本体に「L」という刻印のある方を左耳に、「R」という刻印のある方を右耳に、サポートホルダーが上になるようにして装着します。



2. 装着後、L 側は時計回り、R 側は反時計回りに少し回すことで、サポートホルダーが耳のくぼみ収まり落ちにくくなります。

※このときイヤーピースが耳にあわなければ、別のサイズのものに取り替えてください。



Bluetooth 対応機器とペアリング（機器登録）する（ペアリングモード）

Bluetooth 対応機器と接続するには、はじめに 1 回だけペアリングを行う必要があります。事前に Bluetooth 対応機器の「Bluetooth 設定機能を有効（オン）にする方法」や「接続操作」の操作手順をお調べください。

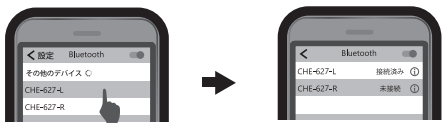
1. 充電ケースからイヤホン本体を L 側、R 側とも同時に取り出します。取り出すと自動的に電源が入り、マルチインジケーターが青く点灯してからいちど消えます。

※イヤホン本体が充電ケースに入っていないときは、まず充電ケースに入れて、マルチインジケーターが赤く点灯することを確認してから取り出してください。
※同時に取り出した場合あるいは L 側を先に取り出した場合、L 側がマスター、R 側がスレーブとなります。
※R 側を先に取り出した場合、R 側がマスター、L 側がスレーブとなります。
※マスター側が Bluetooth 対応機器と通信して、スレーブ側はマスター側と通信して音声を再生します。

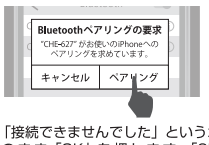
電源が入ると、マスター（L）側とスレーブ（R）側の間で自動的にステレオペアリングが行われます。ステレオペアリングが完了すると「ペアリング」というアナウンスが流れ、マルチインジケーターが赤と青で点灯した後、マスター（L）側のマルチインジケーターが Bluetooth 対応機器とのペアリングモードを知らせる赤と青の交互点滅になります。

※電源が入らないときは充電してください。
※ペアリングされた機器がみつからないときも自動的にペアリングモードになります。
※ペアリングモードで何もしないと約 5 分で、マルチインジケーターが赤く点灯したのち電源が自動的に切れますので、それまでにペアリングを完了してください。

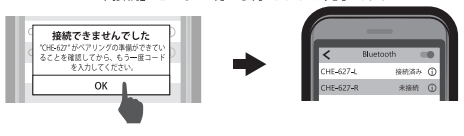
2. Bluetooth 対応機器の Bluetooth 設定機能を有効（ オン ）にします。Bluetooth 対応機器の画面に表示される「CHE-627-L」を選びます。



3.「CHE-627-L　接続済み」の表示が出たあと、「Bluetooth ペアリングの要求」というポップアップダイヤログが出ますので、「ペアリング」を選択します。



4. iPhone の場合「接続できませんでした」というポップアップダイアログがでますが、そのまま「OK」を押します。「CHE-627-L　接続済み、CHE-627-R　未接続」という 2 行が表示されれば完了です。



接続が完了すると「コネクティッド」というアナウンスが流れ、マルチインジケーターが赤と青で点灯した後、5 秒間隔で青く点滅を繰り返します。

※Bluetooth 設定機能を解除（ オフ ）にするとペアリングが解除され、「ディスコネクティッド」「ペアリング」（ステレオペアリングのこと）というアナウンスが流れて、マルチインジケーターがペアリングモードを知らせる赤と青の交互点滅になります。

Bluetooth 接続で再生する

1.Bluetooth 対応機器の接続操作を行います。

※最後にペアリングした Bluetooth 対応機器の電源が入っており、そばにあると、充電ケースから取り出すだけで、最後にペアリングした Bluetooth 対応機器と自動的に再接続します。
※Bluetooth 対応機器の電源を切ったり、Bluetooth が届く範囲から外れると、ペアリングが解除され、「ディスコネクティッド」「ペアリング」（ステレオペアリングのこと）というアナウンスが流れて、マルチインジケーターがペアリングモードを知らせる赤と青の交互点滅になります。

このとき Bluetooth 対応機器の電源を入れ直したり、Bluetooth が届く範囲に入っても、ペアリングがうまく行われないときがあります。その場合はイヤホン本体をいちど充電ケースに戻し、マルチインジケーターが赤色に点灯するのを確認してから取り出してください。

2. 本機あるいは Bluetooth 対応機器を操作して音声を再生するとマルチインジケーターが 5 秒間隔で青く点滅を繰り返します。

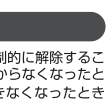
※バッテリー残量がなくなると「バッテリーロー」というアナウンスが流れ、マルチインジケーターが 2 秒間隔で赤く点滅しますので、充電ケースに収納して充電を行ってください。
※この状態でも数分間は使用できますが、さらにバッテリー残量が少なくなると「パワーオフ」というアナウンスとともに自動的に電源が切れます。

音楽の再生操作

Bluetooth 対応機器が AVRCP に対応している場合、本体から以下の操作が可能です。

R 側のマルチファンクションキー

1 回タッチするごとに再生／一時停止を繰り返します
2 回タッチすると次の曲に進みます
3 回タッチすると Siri が起動します（iPhone や iPad などの Apple 製デバイスの場合）
※もういちど 3 回タッチすると Siri が終了します。
長押しするとビッという音の後ボリュームが上がります



L 側のマルチファンクションキー

1 回タッチするごとに再生／一時停止を繰り返します
2 回タッチすると曲の頭に戻ります
※再生中の曲の最初から 3 秒以内ですとひとつ前の曲に戻ります
※使用する機種・アプリによって、動作が異なる場合があります
3 回タッチすると Siri が起動します（iPhone や iPad などの Apple 製デバイスの場合）
※もういちど 3 回タッチすると Siri が終了します。
長押しするとビッという音の後ボリュームが下がります

ハンズフリーで通話する

Bluetooth 対応機器が携帯電話やスマートフォンなど電話機能を持っている場合、電話が掛かってくると、マルチインジケーターが青く点滅し、本機から電話のコール音が聞こえます。このとき、L 側あるいは R 側のマルチファンクションキーをタッチすると通話ができます。

※マルチファンクションキーをタッチする代わりに、Bluetooth 対応機器で本機を選択することでもハンズフリーで使用することができます。
※音声を再生中に電話が掛かってくると、音声がミュートされて電話のコール音が聞こえます。通話が終了するとミュートが解除されて音声が再開されます。
※コール音は通常携帯電話やスマートフォンなどからも聞こえます。それらからコール音を出したくないときはマナーモードに設定します。その場合でもイヤホン本体からはコール音が聞こえます。
※電話に出たくないときは L 側あるいは R 側のマルチファンクションキーを 2 回タッチします。
※通話を終えたいときはもう一度 L 側あるいは R 側のマルチファンクションキーをタッチします。

片側ずつ別々に使う（デュアルマスターモード）

本機は通常 L 側（左側）がマスターで、R 側（右側）がスレーブです。マスター側が Bluetooth 対応機器と通信し、スレーブ側はマスター側と通信して音声を再生します。
ところが、このデュアルマスターモードを使用すると、L 側、R 側ともいずれもがマスターになります。

●**片側だけ使うとき**

通話用のヘッドセットとして、片耳だけに装着したいときは、Bluetooth 対応機器とのペアリングが済んでいれば、充電ケースから片方だけ取り出せば、モノラルのイヤホンとして使用することができます。

※あとからもう一つを充電ケースから取り出すと、自動的にステレオペアリングが行われ、L 側 R 側を使用したステレオイヤホンになります。
※ステレオイヤホンとして使用中に片側だけ充電ケースに戻すと、残ったイヤホンがモノラルイヤホンになります。

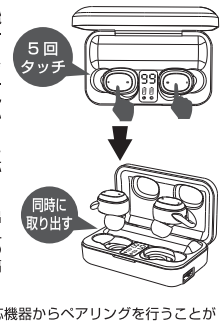
ペアリングの強制解除（リセット）

Bluetooth 対応機器とのペアリングをイヤホン本体側から強制的に解除することができます。どの Bluetooth 対応機器に接続しているかわからなくなったときや、デュアルマスターモードを使用した後にうまく接続できなくなったときなどに使用します。

1. イヤホン本体の L 側、R 側とも充電ケースに収め、マルチインジケーターが赤く点灯するまで待ちます。
2. イヤホン本体をケースに収めたまま L 側、R 側のマルチファンクションキーをそれぞれ 5 回タッチしますと、マルチインジケーターが紫色に点灯してから消灯し、再び赤色に点灯します。

※この状態では L 側 R 側が独立して、それぞれが Bluetooth 対応機器とのペアリングモードになっています。

3. つぎに、L 側と R 側を同時に取り出すことで L 側と R 側がペアになり、L 側のマルチインジケーターは赤と青の交互点滅を繰り返し、R 側は 5 秒間隔で青色に点滅します。



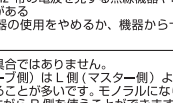
この状態で使用したい Bluetooth 対応機器からペアリングを行うことができるようになります。

バッテリーの廃棄について

本機の内蔵バッテリーにはリチウムポリマーバッテリーが使用されています。廃棄するときは、お住まいの各自治体の条例に従ってください。条例の内容については、お住まいの各自治体にお問い合わせください。

よくある質問

Q：Bluetooth 対応機器が操作できるようになるまでの間に「ピンポン」という音がイヤホンから聞こえることがあるのですが、これは何ですか。	A：L 側と R 側が通信を行ってステレオペアリングを行っているところです。
Q：市販のイヤーピースを取り付けることはできますか。	A：できますが奥行きが大きいと充電ケースに収まらないことがあります。
Q：付属のイヤーピースは水洗いできますか	A：イヤーピースとサポートフォルダーはシリコン製ですので、取り外して水洗いすることができます。 サポートフォルダーには L、R の区別がありますので注意して、下記のイラストを参照して装着してください。



商標について

Qualcomm aptX is a product of Qualcomm Technologies, Inc. and/or its subsidiaries.

Qualcomm is a trademark of Qualcomm incorporated, registered in the United States and other countries.
aptX is a trademark of Qualcomm Technologies International, Ltd., registered in the United States and other countries.

その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。

故障かな？と思ったら

電源が入らない	本体（イヤホン）のバッテリー残容量が不足している →本体を充電してください。
充電できない	本体が充電ケースに正しく装着されていない →装着後、マルチインジケーターが赤色に点灯すると正しく装着されています。
ペアリングできない	本機と Bluetooth 対応機器が離れすぎている →なるべく近づけてからペアリングしてください。
Bluetooth に接続できない	本機の電源が入っていない、あるいは Bluetooth 対応機器の電源が入っていない →本機の電源を LR ともに入れてください。また Bluetooth 対応機器の電源も入れてください。
	Bluetooth 対応機器の Bluetooth 機能が OFF になっている →Bluetooth 機能を ON にしてください。
音がでない	本機の電源が入っていない、あるいは Bluetooth 対応機器の電源が入っていない →本機の電源を LR ともに入れてください。また Bluetooth 対応機器の電源も入れてください。
	Bluetooth 対応機器の出力先設定が「CHE-627-L」になっていない →「CHE-627-L」を選択してください。
	Bluetooth 対応機器の音楽が再生されていない →音楽を再生してください
	Bluetooth 対応機器がミュートになっていたり、極端に音量が小さい →ミュートを解除したり、音量を適切に上げてください。
音がひずんだりノイズが出る	本機と Bluetooth 対応機器との間に障害物がある →障害物を取り除いてください。
	近くに 2.4GHz 帯の電波を発する無線機器や電子レンジなどの機器がある →それらの機器の使用をやめるか、機器から十分離れてください。
	本機と Bluetooth 対応機器との距離が離れすぎている →本機と Bluetooth 対応機器との距離を縮めてください。
思った以上に通信距離が短かったり、音が途切れたりする	近くに 2.4GHz 帯の電波を発する無線機器や電子レンジなどの機器がある →それらの機器の使用をやめるか、機器から十分離れてください。
L 側（左側）のバッテリーが先になくなる	仕様であり不具合ではありません。 →R 側（スレーブ側）は L 側（マスター側）より 1～2 時間長く使えることが多いです。モノラルになりますが、L 側を充電しながら R 側を使うことができます。

主な仕様

品　　名	cheero Wireless Earphones powered by Qualcomm® aptX™ audio
型　　番	CHE-627
Bluetooth Ver	Ver. 5.1
防 水 規 格	IPX5
対応プロファイル	A2DP/AVRCP/HSP/HFP
対応コーデック	SBC、AAC、aptX
最大通信距離	10m
再生周波数帯域	20Hz～20kHz
ノイズリダクション	CVC8.0
バッテリー容量	45mAh（本体・片側）/ 2200mAh（充電ケース）
入力（充電ケース）	DC 5V/1A
出力（充電ケース）	DC 5V/1A
充 電 時 間	約1.5 時間（本体）/ 約 3 時間（充電ケース）
再生時間（本体のみ）	約 5 時間（通話のみ）/ 約 10 時間（音楽再生のみ）
再生時間（充電ケース併用）	約 180 時間（本体への充電回数 18 回分）
待 受 時 間	約 200 時間
動 作 温 度	0～45℃
寸　　法	約22×16×25mm（本体）/ 約80×47×28mm（ケース）
重　　量	約5ｇ（本体）/ 約80ｇ（ケース）

製品に不具合がございましたら、不具合内容、ご購入店舗を、下記問合せ先までご連絡ください。ご注文番号がある場合は、ご注文番号もお知らせください。

お問い合わせ先：ティ・アール・エイ株式会社
E メール：love@cheero.jp
URL：cheero.net

保 証 書

①保証書をご提示又は送付いただく事で、同等の製品と交換させていただきます。
②この保証書は cheero Wireless Earphones powered by Qualcomm® aptX™ audio 本体および充電ケースの保証です。
またご使用に際して携帯電話、その他の音楽データ各種メモリー内容に関する損害などの保証をするものではありません。
③保証の際には納品書（注文番号がわかるもの）が必要となりますので、保証書と一緒に保管しておいてください。
④本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
⑤保証期間内でも次の場合には保証の対象外となります。

※使用上の誤り、改造や不当な修理による故障または損傷
※お買い上げ後の輸送、落下などによる故障または損傷
※不適当な保管、保存よる故障または損傷
※火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、煙害、などによる故障または損傷
※本書のご提示がない場合
※その他、当社の責任とみられない故障または損傷

保証期間	お買い上げ日より 1 年間
商品名	cheero Wireless Earphones powered by Qualcomm® aptX™ audio
お買い上げ日	年　　月　　日

ティ・アール・エイ株式会社　住所：大阪市中央区北浜東６番６号

1912-1